

2023年2月10日

## 2023年（令和5）カーボンブラック需要見通し

2023年1月、内閣府の2023年度経済見通しによると、世界経済の減速は見込まれるものの、政府の「物価高克服・経済再生実現のための総合経済対策」の効果の発現が本格化し、人への投資や成長分野への投資が促進されることから実質1.5%程度、名目で2.1%程度の民需主導の成長が見込まれている。

一方、2023年の世界経済成長率見通しは、世界銀行が1月に1.7%と昨年6月の前回予測3.0%から1.3ポイント下方修正された。インフレの進行、金利上昇、ロシアのウクライナ侵攻の長期化に加え長引くコロナ感染症の動向にも予断を許さない厳しい状況が続いている。

このような経済展望の中、カーボンブラック需要における主要需要先である自動車タイヤ需要について（一社）日本自動車タイヤ協会が、またゴム産業全体の新ゴム消費量について（一社）日本ゴム工業会が夫々2023年の需要見通しを公表した。

これによると、自動車生産台数は前年比6.7%増、タイヤ国内需要は同2.5%増と予想されている。一方、新ゴム消費量は自動車タイヤ・チューブで前年比3.1%増、一般ゴムで6.8%増、ゴム産業全体では3.8%増と予想している。

当協会では、これら（一社）日本自動車タイヤ協会と（一社）日本ゴム工業会の需要見通しをベースに、カーボンブラック輸出入の状況等を織り込んで、2023年のカーボンブラック需要の見通しを行った。その結果、カーボンブラック総需要は前年比3.4%増の727,250トンと見込んだ。

なお、「需要見通しの指標」については添付資料の【表1】、「カーボンブラック需要見通し」については同【表2】、「輸入見通し」については同【表3】を夫々参照願う。

以上

【表1】 2023年需要見通しの指標

『見通し』の前年比は前年見込み比%

	2021年実績		2022年実績見込み		2023年見通し	
	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比
自動車生産 (千台)	7,847	97.3%	7,975	101.6%	8,507	106.7%
タイヤゴム消費 (トン)	1,014,730	117.5%	1,009,660	99.5%	1,040,960	103.1%
一般ゴム消費 (トン)	242,320	108.6%	241,340	99.6%	257,740	106.8%
新ゴム消費量計 (トン)	1,257,050	115.7%	1,251,000	99.5%	1,298,700	103.8%

【表2】 2023年カーボンブラック需要見通し

数量単位 ; トン、『見通し』の前年比は前年見込み比%

	2021年		2022年見込み		2023年見通し	
	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比
タイヤ	471,850	117.5%	465,453	98.6%	478,840	102.9%
一般ゴム	138,122	108.6%	137,564	99.6%	146,910	106.8%
ゴム用計	609,972	115.4%	603,017	98.9%	625,750	103.8%
非ゴム	46,772	116.3%	44,216	94.5%	44,500	100.6%
内需計	656,744	115.5%	647,233	98.6%	670,250	103.6%
輸出	62,271	131.3%	56,393	90.6%	57,000	101.1%
[内ゴム用計]	17,564	128.5%	15,158	86.3%	16,000	105.6%
総需要	<b>719,015</b>	116.7%	<b>703,626</b>	97.9%	<b>727,250</b>	103.4%
[内ゴム用計]	627,536	115.7%	618,175	98.5%	641,750	103.8%

【表3】 2023年カーボンブラック輸入動向

数量単位 ; トン、『見通し』の前年比は前年見込み比%

	2021年実績		2022年実績見込み		2023年見通し	
	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比
ゴム用	136,878	121.3%	120,525	88.1%	125,000	103.7%
非ゴム用	13,800	110.8%	13,366	96.9%	13,500	101.0%
合計	150,678	120.3%	133,891	88.9%	138,500	103.4%

以上